



日本聖公会
大阪教区教務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
教務局長 司祭 山本 眞

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第452号 2016年12月25日発行

クリスマスおめでとうございます。

私がお好きなクリスマス飾りに、アドベントリースの中に立てられた4本のローソクがあります。イエス様のお誕生を待ち望む降臨節（アドヴェント）の日曜日ごとに1本、2本と灯

空は天使たちによって輝きました。その光景を見たのが羊飼いたちでした。

早逝したカントリーシンガーのハンク・ウイリアムスの名曲「Saw the Light」では、「目的もなく暗闇を彷徨^{さまよ}ってきたけれど、イエス様が来てくれた、僕

きませんでした。神様は彼らを選ばれました。罪人の友となるため、また人間が本来神様から与えられている「価値」を取り戻すために来られた「救い主の誕生」を祝うために、神様を選んだのは貧しき羊飼いたちでした。彼らは知りました。

そして何よりその「近づきやすさ」です。「恐れ」「畏れ」が、神様に近づく時の感情ではないでしょうか。しかし天使たちも言います。「恐れるな」。目撃者は人間より動物の方が多かったかもしれない。牛やロバに踏みつぶされそうな赤ちゃん。布にくるまれた赤

信じて出かけて行った

羊飼いたち



主教 アンデレ 磯 晴久

されていきます。光に導かれ、招かれてだんだんイエス様に近づいていきます。

クリスマスのお出来事を読む時、天使の御告げや星の光に導かれ、信じて歩み出し、イエス様とお会いできる人々のことが報告されています。その中に羊飼いたちがいました。ほんの一瞬、

は光を見た」と歌われています。まさに羊飼いたちは暗闇の中で光を見ました。彼らは、一晩中羊の群れを番する読み書きもできない雇われ人であり、「名もなき人たち」でした。彼らは粗野で、神を知らない人とされて、ユダヤ教の神殿では外庭にしか居ることがで

救い主がお生まれになった場所は、家畜小屋で、何と自分たちが生まれた場所と同じだということを。「救い主は私たちのところにお生まれになった」―彼らは驚き、喜んだでしょう。静けさ、ひそやかさ、世界の片隅において、神様からの贈り物は与えられたのです。

ちゃん以上にこわくないものがあるでしょうか。人間は、恐れなしに神様とかかわりを持つことができるようになったのです。番兵もいません。誰をも拒否しない、誰でもが近づけるお姿で、救い主はお生まれになりました。

さあ私たちも信じて歩み出しましょう。世界は暴力的で、不寛容で、排他的です。平和の道は、この幼子のお姿の中に示されています。

（いそ はるひさ・大阪教区主教）

教区成立93周年大阪教区礼拝

テーマは「シャローム(平和があるように)」

式典長 司祭 ジョイ 千松 清美



陪餐中、賛美は有志のリードで

2016年度の大阪教区礼拝は、10月2日(日)午前10時30分より、プール学院勝山キャンパス「清心館」にて開催された。磯崎久主教の意向により「シャローム(平和があるように)」をテーマに礼拝が行われ、公会暦の日課により聖霊降臨後第20主日の聖書箇所を用いた。今回新しい試みとして、陪餐中の演奏曲を有志による演奏と歌のリードに併せて、「テゼの祈り」より賛美曲を選曲した。教区

主教による説教は、ルカによる福音書17章5〜6節と13章18〜19節より「小さきものの中にあるいのち」と題されて行われた。出席者は458人。信施は、午後の講演会講師が施設長をしておられる「NPO法人こどもの里」および「九州地震被災者支援(熊本聖三一教会修復工事)」のために169,076円(それぞれが献げられた。

このように教区礼拝を皆様と共に守ることが出来る恵みを、神様に感謝します。

1、宣教師への感謝

先日9月22日神戸教区が宣教140周年記念礼拝を挙行されました。1876年9月21日H・J・フォス、F・B・プランマー宣教師が神戸に着任された時を神戸教区の宣教開始と定めておられました。大阪教区の宣教開始はいつだろうか。1869年11月アメリカ



教区礼拝主教説教

小さきものの中にあるいのち

(ルカ17:5〜6、13:18〜19)

「キッズ広場」は、Gループ(教区青年会)とキッズフェスティバルスタッフによる人形劇「3匹のかわいいおおかみ」が、カフェテリア奥のラウンジに

て上演された。子どもたちだけでなく多くの大人の方にも人形劇を楽しんでもらった。午後の宣教部主催のプログラムは、「NPO法人こどもの里」の施設長・荘保共子さんによる講演会。子どもの里の活動内容の報告だけでなく、社会の中で埋もれ隠されていく子どもたちの問題点が指摘され、救済を真剣に考える必

要を教えられた。参加者は約90人であった。例年同様、教区礼拝の開催に際して、プール学院、教区の諸団体、礼拝奉仕者、有志の皆様のご協力を頂きましたことを感謝いたします。

(せんまつ きよみ・石橋聖 トマス教会牧師、庄内キリスト教会管理牧師)

カ聖公会宣教師、ウィリアムズ監督が大阪に居を構えます。この時を大阪教区の宣教開始と考えると、今年で宣教147年(大阪教区成立は1923年、93周年)となります。1899年大阪地方部H・J・フォス主教就任。その時大阪地方部は大阪から下関、淡路島、四国も含む広大な教区でした。1923年に大阪教区が成立し、芦屋以東は大阪教区、以西は神戸教区となりました。

147年前と言えば、切支丹禁令の高札がまだ掲げられていました。切支丹禁令の高札が諸外国の圧力を受けて、ようやく撤去されるのは1873年です。1859年頃には、勤王・佐幕派争いがあり、日本は戦をしておりました。安政の大獄などもあった、こうした混乱した時代に、宣教師の皆さんは熱い思いをもって来日されました。信仰、教育(女性・子ども)、福祉、医療が日本の人々に必要だと考えて、

まだ見ぬ、見知らぬ日本人々に伝えようと、やって来ます。誰も来てくださいと頼んでいない。切支丹禁令の高札もあつたわけですから、来てほしくないと言っている国、争いの中にある国にやって来てくださったその信仰、熱意に感心し、感謝したいと思えます。大阪教区も日本聖公会も、宣教師の人たちが持つてきてくださった神様からのプレゼントです。頂きものです。神様の栄光のために十分に用いさせて頂かないといけないと感じています。宣教師の皆さんの伝道・宣教への熱い思いを、私たちの内に取り戻さないといけないと思います。

2、からし種一粒ほどの信仰があれば

本日(2016年12月25日)の福音書は、イエス様の弟子たちの懇願から始まっています。彼らは自分たちがより深い信仰をもつ必要性を強く感じています。また主イエスへの信頼を増したいとも感じています。「わたしどももこの願いは、私たちの願いではないでしょうか。」

イエス様の返答は、非常に驚くべきものでした。印象深く、弟子たちの心に刻まれ、それは今に至るまで継承されています。主は言われた。「もしあなたがたにからし種一粒ほどの信仰があれば、この桑の木に、『抜け出して海に根を下ろせ』と言つても、言うことを聞くであろう。」(6節)からし種は0.5ミリ、1ミリの種、小さいものたえ。桑の木が土から抜け出して海に根を下ろすは、大きいものたえです。

いろいろな訳の聖書を見てみました。

山浦玄嗣訳(ケセン語)
「神さまにより頼む美しい心を：」「お前さんたちは、神さまに寄り頼む心を辛子種一粒くらいは持っているよな」
柳生直行訳
「わたしどもの信仰をもつと大きくしてください」「そなたたちからし種一粒ほどの信仰がありさえすれば：」
本田哲郎訳
「わたしらに、あゆみを起こさせるほどの信頼を増してください」「もしあなたたちに、からし種ほどの信頼があつて

行動を起こすなら、」

ルカは小さなからし種が好きたのでしよう。それはイエス様がそうだったからです。ルカが紹介する神様、イエス様が紹介される神様は、小さいもの、小さくされたものを大切にされる神様です。15章1節以下で神様は、見失った1匹の羊を、99匹を野原に残してでも探し回る羊飼いと紹介されています。8節以下では無くした一枚のコイン。コインですから、ただ転がっているだけです。泣きもわめきも助けてーと叫びもしない。その失われたコインを必死に探す女性にたとえて、神様を紹介しています。そして見つけた時、天上に大きな喜びがあり、神の天使たちの間に大きな喜びがあると語られています。1匹の羊、そしてこのなすすべもなく転がっている1枚のコイン、これは私たち一人一人のことです。私たちは見つけ出されて、ここに集められています。また神様は貧しきラザロを大切に思われます。ルカが紹介する神様、イエス様が紹介される

神様は、小さいもの・小さくされたものを大切にされる神様です。神様がどういふ方であるか、そのことを知ることには、一番大事なことです。私の大好きな詩編8編には「あなたの天を、あなたの指の業を、わたしは仰ぎます。月も、星も、あなたが配置なさったもの。そのあなたが御心に留めて下さるとは、人間は何ものなのでしょう。人の子は何ものなのでしょう。あなたが顧みてくださるとは。」人間は神様が創造された大自然の中で、本当に取るに足りない小さな存在、しかし神様は小さな存在である私たちを大切にものとしてくださる、どうしてですかと驚きをうたっています。

神様は小さな存在がお好きで、小さな私たちを大切に思ってくださいています。神様がどういふお方であるかを知ることが大切なのです。

3、からし種計画 1%アクシヨンプラン

私は皆様と3年後、宣教150周年に向かって、「からし種計画」を考えたいと願っています。からし種からヒントを得て、まず1%ということを目指して提案したい。これはある方の本からの受け売りではありません。

鎌田實さんというお医者さんがいます。長野県にある諏訪中央病院名誉院長先生。国内では健康作り運動、海外でもチェルノブイリ原発事故で被災した子どもたちの支援、劣化ウラン弾の影響で苦しむイラクの子どもたちや栄養不良に苦しむパレスチナの子どもの支援などで飛び回っておられるお医者さん。彼の著書に「1パーセントの力」という本があります。

そこからヒントを頂いた。鎌田先生は1パーセントには人生を変える力がある、と仰る。困難の中にいる時、100パーセントのことをしようとすると身がすくんで動けない。しかし1%だと体と心が動き出すことができる。まず1%が大事だと言う本です。

陰惨な事件が頻発しています。困ったことに、多くの加害者が自分は被害者だと思っている。自分、自分、自分、

(次頁4段目につづく)

教 区 会
開会メッセージ
(要 旨)

イエス・キリストを人々に紹介し、
「共に生きる」地域共同体の実現に向けて

主教 アンデレ 磯 晴久

〈感謝〉

日本聖公会大阪教区第117
(定期) 教区会開催にあたり、
感謝を申し上げます。本日は
国民の休日にも関わらず、本
教区会のために、お集まり下
さり、心より感謝申し上げます。
日ごろの皆様のお働き、
特に教区諸活動へのご支援と
ご理解に重ねて感謝申し上げ
ます。

〈世界・日本〉

世界の状況は、戦争・紛争・
テロ・難民流出・病気や飢餓
が世界を覆っています。戦争
の世紀に入ったように感じら
れます。また日本政府も、戦
争できる国へと大きく舵を切
ろうとしています。日本社会
全体が、排外的で不寛容な世
の中になっていきます。私たち
の子どもたちのためにも、皆
様と共に平和を祈り求めて参
りたいと存じます。

九州地震、鳥取地震、台風
被害と災害が続いております。
また昨日東北地方では、大き
な地震がありました。また、そ
れぞれの被災地には、今もなお
復興にはほど遠い厳しい現実
がのしかかっています。原発
事故による目に見えない放射
能汚染は、多くの人々を恐れ
と不安、危険の中に置き去り
にしたままです。祈りと支援
を続けて参りましょう。九州
地震被災者支援に関しては、
大阪教区災害対策室を設置し、
大阪教区として支援募金額を
50万円としました。皆様から
の篤い祈りと合わせ目標額を
超える献金が寄せられ、心よ
り感謝申し上げます。

〈管区〉

いよいよ「堅信前の陪餐」
が実行に移されます。主教会
教書をよくお読みください、
「おいで子どもたち」を用い

て、各教会での学びを深めて
ください。不明な点は、主教
にお尋ねください。また市原
信太郎司祭を専従担当者とし
て、祈禱書の改正作業が本格
的に開始されました。

〈大阪教区〉

井上進次司祭を1月に神様
の御許にお送り致しました。
魂の平安とご家族のためにお
祈りいたします。ご遺族の支
援ということで、尼崎聖ステ
パノ教会のご厚意により、同
教会牧師館で1年間の予定で
居住させて頂いています。尼
崎聖ステパノ教会の皆様にお
礼申し上げます。来年3月末
には、ご家族は新しい道へと
歩み出して行かれます。神様
の導きをお祈りいたします。

ヒューム ユーワン聖職候
補生は、ウイリアムス神学館
2年次の勉学に励んでいます。
課題であります日本語につき

(前頁よりつづく)

自分のことしか考えない時代。
こんな時1%でもいいから相手
の身になること。鎌田さんは
お医者さんですので、興味深
いことを言われます。1%誰
かのために生きると、私たち
の体の中に、思いやりホルモ
ンが分泌され、高血圧の発症
率も下がり、動脈硬化も少な
くなるのだそうです。誰かの
ために生きると体にいい。

1%相手の身になると職場
の空気も家庭の空気も地域の
空気も変わる。最近教会の雰
囲気がイマイチだなどと思い
の方がおられたら、1%相手
の身になる運動を教会で展開
してください。教会で是非神
様と人々のために1%ささげ
る、1%でいい、何かをアッ
プさせる運動を展開してくだ
さい。1%には不思議な力が
あります。からし種計画、1
%アップ計画に参加ください。

4、信仰も行いも神様からの
プレゼント

そして、この小さなからし
種ほどの信仰は、神様からの
プレゼントです。福音書の後
半、10節「わたしどもは、取

るに足りない僕です(貧しい
僕です)。しなければならな
いことをただけです」とあ
ります。報いを求めない、謙
遜な生き方が求められている
ように感じます。それよりも
大事なことを言おうとしてい
ます。信仰も、何か実行でき
たことがあったとしても、そ
れは皆、神様からの頂きもの、
与えられたものであるという
ことです。神様がくださる、
そのことに信頼して歩み出せ
ばいいのです。

神様から頂くものですから、
小さなからし種には大きな
のちが隠されています。ルカ
は次のような神の国のたとえ
を語っています。ルカ13:18
「そこで、イエスは言われ
た。『神の国は何に似ている
か。何にたとえようか。それは、
からし種に似ている。人がこ
れを取って庭に蒔くと、成長
して木になり、その枝には空
の鳥が巣をつくる。』」

神様の力を信じ、寄り頼み
ながら、からし種の信仰をく
ださる神様の風に乗って歩み
出しましょう！



ましては週に2日、発声など訓練に励んでいます。新たな神学生につきましては、現在2人の志願者が名乗りを上げています。西宮聖ペテロ教会・山本直樹兄より聖職候補生志願が出され、教会の推薦、常置委員会の面接を終え、来春よりウイリアムス神学館に入学の予定です。川口基督教会信徒・桃山学院中高聖書科常勤講師・大平有紀姉は、1年後に聖職候補生志願を出すべく準備を始めています。欲しい

いのは人であります。どうぞ皆様の篤いお祈りをお願い致します。特に千松司祭に続く、女性聖職が与えられますように、お祈りください。

ペテロ山将司聖職候補生の執事試験が行われ、今後の成長に期待して、十分な準備をもつことを条件に、執事に按手されることとなりました。現在リトリートが始まろうとしています。フランチェスコ成岡宏見執事は管区司祭試験にチャレンジ中であります。金山聖職候補生の執事按手と成岡執事の司祭按手は、同時に行いたいと考えております。楽しみにしておられる大阪聖愛教会と大阪城南キリスト教会の皆様、今しばらくお待ちください。

ロスアンジェルス教区から3年間の大阪教区への出向というところで、協働者として働いている金アンデレ司祭は、2年目を聖ルシヤ教会副牧師、プール学院大学・短大・中高チャプレン補として勤務して頂いています。

京都教区との合併を視野に入れた教区間協働に関しては、京都事件の解決など課題は沢

山ありますが、良き化学反応が起ると信じて、今総会で皆様の承認を頂ければ、特別協働教区関係を結び（来年春までに締結式の予定）、合併を視野にさらに協議を深めて参りたいと願っております。また2017年11月を目指し、大阪教区は教区の執行機関として、京都教区と同じ、総務局、宣教局、財政局の3局体制に移行します。

現教務局長の原田光雄司祭は、2004年11月就任以来12年間、その職務に当たって下さいました。今総会をもって、その任を解きますが、長期にわたるご苦勞に心より感謝申し上げます。岩城聰司祭は2017年3月末をもって定年退職となります。

教会・教区・管区とまことに多方面にわたって、お働き下さっています。現在の教区の状況を考えますと、シニアパートナーとして、しばらくはお助けを頂かねばならないと考えております。

台湾聖公会との協働関係につきましては、今年3月に、私をご招待を受けましたので、訪問団を結成し、台湾聖公会

教区会に参加し、挨拶をさせて頂きました。そこで前触れもなく李鎮丞司祭の大阪教区での研修計画が発表されました。同司祭は4月19日から7月15日に大阪教区に滞在され、交流を深めました。台湾聖公会との交流が、さらに顔の見える形で深まり、協働教区関係をさらに3年継続することとなりました。2017年5月台湾にて調印式を行う予定です。訪問団を結成いたしますので、皆様のご参加、よろしくお願いいたします。

大韓聖公会との関係ですが、今9月に済州島でのスタディツアーを実施し、交流を深めて参りました。日韓協働の歩みから、もう一度国内では、聖ガブリエル教会、聖公会生野センター（財政的に大ピンチ、募金・クリスマス献金などご協力よろしく）の働きを、大阪教区の中でしっかり位置づけていく必要があると感じております。

本教区会に至るまで、ほぼ2回以上、各教会を堅信式あるいは巡杖で訪れることができました。

皆様が祈りながら心を尽くして、教会運営に、宣教・伝道活動に当たってください。ある姿に触れ、心から敬意を表するものであります。と同時に、声なき（悲鳴）声を聴いております。「高齢化、若者がいない、財政的にしんどい、具体的な宣教方策を決めることができない、教会内のコミュニケーションがうまく取れていない、どうすればいいのか、自信を失っている…」

今回、お手元にまことに不十分ですが、アクション・プランを作成して参りました。教区報の紙面の関係上、テーマのみを記します。興味を持って下さいましたら、各教会へ出向いてお話し合いをしたいと願っております。

- ①「大阪教区」からし種計画・1パーセントの力を神にささげよう」
- ②「宣教の5指標を2つにまとめて表現する」

A, イエス・キリストを皆に紹介しよう。
B, 共に生きる地域共同体の実現を目指そう。

以上

第117(定期)教区会 報告と議案の記録

第117(定期)教区会は去る11月23日(水/休)、主教座聖堂(川口基督教会)で、午前9時、礼拝堂における開会礼拝(聖餐式)をもって始まった。

当日の信施は、九州地震で被災した熊本聖三一教会(牧師・司祭 山崎貞司)および降臨教会礼拝堂(同)の建物修理のために献げられた(5万4,910円)。

議場は会館3階で、議員資格調査委員など、議会運営のための諸委員と補助書記の指名に続き、議員・代議員の点呼により議会の成立が確認された。主教演説に続き常置委員会をはじめ諸委員会等の報告が行われた。

引き続き5つの議案に関する審議は、第5号以外短時間で滞りなく進み、予定より約1時間早く午後4時頃に終了した。

当日の書記は松平功司祭、奥村貴充司祭。補助書記はウイルソンウォーレン司祭、

小西宏平氏「高槻聖マリヤ」。

1. 議案審議と決議

議案は下記の5つで、第5号議案意外全て原案どおり可決された(《 》内は提出者)。

(1) 議案第1号 2017年度日本聖公会大阪教区一般会計予算(案) 承認の件

《財務委員会》

総額は前年度比300万円減の4000万円。収入のうち、各教会が分担する教区費の総額は前年度と同額の3700万円、以下同じく堅信式信施金95万円、臨時献金74万円、学校・病院教区費70万円等はすべて昨年と同額。総額における前年度比300万円減はすべて、特別積立金取崩しの前年度比300万円減にそのまま反映している。

支出の減額分の大きな要因は①職員俸給(120万円減)と②牧会補助金(100万円減)、③教役者移転費(45万円減)。続いて、④年金

厚生費(17万円減)、⑤通信費(10万円減)、⑥教区館費(10万円減)、⑦租税公課(6万円減)で、合計308万円。一方、増額されたのは、①印刷図書費(5万円増)と②予備費(3万円増)のみで、合計8万円。

500万円以上の支出項目に関して、前述、大幅減額の職員俸給と牧会補助金以外の項目(主教俸給、管区費)については昨年と変わらず、宣教部やその各委員会などが主催する諸活動などに用いられる教務局費(230万円)は、前年度と同額。

(2) 議案第2号 「特別協働教区」関係の件

《常置委員会》

京都教区と大阪教区が相互の関係を「特別協働教区」と位置づけ、2017年4月1日より特別協働関係に入ることを承認し、「大阪・京都特別協働教区運営委員会」を設置する。なお、「大阪・京都

特別協働教区運営委員会」の構成と任務は以下のとおりとする

〈構成〉各教区から5人…主教、常置委員長、教役者1人、信徒2人(常置委員会の指名による)

〈任務〉総務・宣教・財政の3局における協働、諸委員会における協働を促し、その他協働における諸課題を取り扱う。

提案理由は、以下のとおり。両教区の2015年定期教区会で、京都教区と大阪教区の合併を推進する委員会の任期を1年延長し、毎回の会議で両教区主教の臨席のもとに与えられた課題の検討に努めてきた。その過程で、短期間に組織的合併(組織的一体化)を実現するにはなお大きな困難があることが次第に明らかになってきた。その困難とは、

実務的な作業の困難さに加えて、2016年3月の大阪教区臨時教区会の機会に開催された両教区の懇談会でも明らかになった、①財政上の問題、②主教座聖堂および教区事務所の問題、③「京都事件」の解決などの諸点にある。さら

に、宗教法人である教区の解散・合併については、教区会出席議員の四分の三以上の賛成が必要であるという条件が宗教法人規則にあることも考慮しなければならない。

そこで、両教区合併による組織的一体化を将来の課題とするとともに、これまで成果を上げてきた各分野における協働をさらに深く広く推し進め、教区合併によって得られる利点を実質的な方法で確保しつつ、宣教活動を活性化し前進するという方法が望ましいと考えられる。そのため、組織的合併を志向し、視野に入れた特別協働教区関係を確立し、その中で、進めることができる協働を積極的に実現し、組織的合併の条件を整えてゆくことにする。

大阪・京都両教区の「合併推進委員会」設置の際と同様、この議案とまったく同じタイトル、趣旨の議案が11月23日、相互に表裏一体のかたちで、京都教区の定期教区会に提出され、可決された。

(3) 議案第3号 大阪教区の組織体制を3局体制に移

行する件

《常置委員会》

教務局長のもとで総務部と宣教部が教区の業務を統括していたのを変更し、主教のもとで総務局、宣教局、財政局の3局を設置し統括する。実施時期は2017年の定期教区会後とする。

*提案理由

従来、教区主教が任命する教務局長のもとに総務部と宣教部が置かれ、それぞれに各委員会（主教の任命によって立てられた委員会を除く）が所属して連絡を取り合いながら教区の業務を進めてきたが、

教務局を廃し、総務局、宣教局、財政局の3局にそれぞれ局長を置き、そのもとで諸委員会の業務を統括することによって、教務局長一人に集中していた責任を分散し、合理的な運営をすることができると、同じく3局体制で運営されている京都教区との将来の組織的合併にも備えることができる。具体的な再編案については教区会後検討を開始し、2017年度は移行期間とし、暫定的な組織編成を行う。2017年3月の臨時教

区会で新体制についての素案を示し、2017年の定期教区会で議案として提出する。

(4) 議案第4号 米国聖公会第8管区台湾教区との宣教協働関係を継続する件

《常置委員会》

2017年の教区礼拝をもって4期目を終了する米国聖公会第8管区台湾教区（台湾聖公会）との宣教協働関係（姉妹教区関係）を、さらに1期延長して、2020年の教区礼拝まで継続する。

(5) 議案第5号 教会名変更の件

更の件

《守口復活教会教会委員会》創立65周年に際して、「守口復活教会」の教会名を「守口聖オーガスティン教会」に名称変更することを承認すること。

審議の結果、議長預かりとなり、採決しなかった。今後、教区主教が対応するとの議長（主教）の判断が表明され、それを議場が受け入れ、結論を留保することとなった。

2. 指名と選挙

教務局長、会計検査委員の指名、常置委員の選挙結果は次のとおり。

*教務局長（教区主教指名）…司祭 山本眞

・宣教部長（将来的に宣教局長に対応）…司祭 ウイルン ウォーレン

・財務委員長（将来的に財政局長に対応）…太田幸彦「聖ルシヤ」

なお、総務部長（将来的に

総務局長に対応）は、教務局長（山本司祭）が兼任。

上記の指名・任命は現行法の枠内で行われるため、「2017年度は移行期間とし、暫定的な組織編成」となる。

*常置委員「選挙」任期1年／長以外、五十音順／「一」内は所属教会／（内は補欠）

・聖職 司祭 竹林徑一（長）、司祭 内田 望、司祭 原田 光雄（司祭 義平雅夫）
・信徒 小池義郎「芦屋聖マ

ルコ」（書記）、辻節子「石橋聖トマス」、畑野めぐみ「芦屋聖マルコ」（豊川雅章「大阪聖愛」）なお、委員長、書記は互選による。

*会計検査委員「教区主教指名」任期1年／五十音順／「一」は所属教会

春名英夫「恵我之荘聖マタイ」、山本多津子「芦屋聖マルコ」

（2016年12月「教務局だより」をもとに編集）

2017年 キリスト教 一致祈禱会

和解

キリストの愛がわたしたちを駆り立てています

(II コリント5・14~20参照)

神戸地区

日時 2017年1月14日（土）午後2時~4時

会場 カトリック たかとり教会

司式者 神父 大久保 武（カトリック神戸中ブロック）

説教者 神父 エマニュエル（カトリック神戸中ブロック）

大阪地区

日時 2017年1月28日（土）午後2時~4時

会場 日本聖公会 大阪聖パウロ教会

司式者 司祭 林 正樹（日本聖公会大阪聖パウロ教会）

説教者 司祭 岩城 聡（日本聖公会川口基督教会）

主催 超教派クリスチャン信徒連盟
カトリック大阪大司教区 諸宗教対話委員会

「2017年キリスト教一致祈禱週間」冊子は
宗教改革500周年を記念してドイツで作成されました。

日本キリスト教協議会 カトリック中央協議会

連絡先／大阪聖アンデレ教会 小出裕司
TEL. 072-263-1393



10月7日(金)に、川口基督教教会に於いて「アジア教会婦人会議日本委員会(ACWCJ)第30回関西支部一日研修会」が開催されました。テーマは「キリストに結ばれて」今や恵みのとき、今こそ救いの日。今年も7教派が参加し、出席者348人(うち聖公会128人)、席上信施献金は305,453円でした。DA

Y礼拝ではACWCモンゴルによって作成された式文を用いて、岩城聰司祭(川口基督教教会)より「平和と美しい自然のために働く」と題してメッセージをいただきました。続く聖書研究の講師は、京都教区平安女学院中高チャプレンの古本みさ司祭。主題は「今や恵みのとき、今こそ救いの日」。嵐を沈めたイエス様のお話を通して、嵐の後には必ず希望の虹がかかる、私達は苦しみを通り抜けてイエス様の存在を知り神様の方へ向き直ることができると学びました。その後、リリースコインの交わり運動、署名キャンペーンのアピールがありました。署名キャンペーンは1,854名の署名と251,891円が集

ACWCJ 一日研修会が川口基督教教会で 「キリストに結ばれて」をテーマに

リベカ 井出 信子

まりACWC本部の働きのために献げられました。磯晴久主教からは、「小さなからし種ほどの信仰が共に集まることによって大きな実りをもたら

らすのではないか」との挨拶がありました。午後からは手話による賛美の時を持ち、キリスト教ミッド社会館で社会福祉士として働かれている高尾真理子氏(日本バプテスト同盟大阪神愛教会)に、ご自身の教会生活の事、箱庭療法の事、キリスト教ミッド社会館の事などをお話しいただきました。毎春秋に行われる1

日研修会。さわやかな秋晴れのもと大勢の出席者と共に礼拝し、賛美し、学び、おいしい昼食をいただいで身も心も満たされた1日となりました。今回会場教会をお引き受け下さった川口基督教教会の信徒の皆様のお働きに、感謝とお礼を申し上げます。(いで のぶこ・西宮聖ペテロ教会信徒)

教区婦人会 秋の修養会

路上生活者に寄り添うとは!?

ハンナ 松本 路子

大阪教区婦人会の修養会は、10月18日(火・福音記者聖ル

カ日)に、大阪聖アンデレ教会にて19人が出席し開かれま

がら、釜ヶ崎、そしてインドのマザー・テレサのもとでボランティア活動もされ、現在は名古屋で様々な事情から路上生活を強いられている人たちへの支援をしておられます。



会場は大阪聖アンデレ教会

名古屋から「野宿者を支援する会」の代表として活動されている、看護師の東岡牧さんをお招きし、「路上生活者の命に寄り添う」と題してお話を伺いました。東岡さんは、部落解放運動に携わっていらした牧師であるお父様からの影響を受け、弱い人、困っている人の力になりたいという思いから、看護師として働きな

その活動は、街中や近郊の河川敷等で野宿している人々を巡回し、食糧を配りながら声掛けや健康チェックをし、必要に応じて行政や医療機関につなげていくというものです。人間不信に陥っている人、

(次頁3段目につづく)

シリーズ 聖公会関連施設紹介 ⑬

学校法人 芦屋聖マルコ学園

認定こども園 愛光幼稚園

園長 マルタ 野見山恵美



たいたいくあそび

愛光幼稚園は阪神芦屋駅から徒歩5分、JR芦屋駅から徒歩10分と便利の良い住宅街の一角にあります。芦屋聖マルコ教会創立の10年後に、地域の子ども5人を保育したことから始まりました。

今年で創立94年、「子ども子育て支援新制度」施行の昨年4月より、認定こども園幼稚園型として新たな道を歩ん

でいます。

新制度は、子どもが親の就業状態で幼稚園と保育所という分断された中で保育されるのではなく、どのような子どもも共に育つことを目指しています。

本園はキリスト教保育を行ってきた歴史と伝統があり、ひとりひとりの子どもと丁寧にかかわることを創立以来の方針とし、芦屋市で最も古い私立園として、いち早く新制度に取り組むこととなりました。

今年からウイelson ウォーレン司祭が理事長、チャプレンとして園にかかわってくださることとなり毎朝、門に立って登園してくる園児達や保護者の方々と挨拶して下さっています。園児は84人(年長26人、年中30人、年少28人)職員は20人と多く、園庭での

(前頁よりつづく)

心を硬く閉ざしている人達を繰り返し訪問することで、彼女に少しずつ心を開き、訪問を待つようになって下さる、そんな交流の生まれることが大きな喜びであり、心の支えになっていくとのことです。

映像を交えて語られる活動の様子は、彼女の小柄で優しい雰囲気からは想像もつかない情熱溢れる逞しいお働きであり、感じ入りました。それは弱い人、病んでいる人、差別

外遊びでは元気な声が響いています。

月1回第3日曜日に園児が礼拝します。そのうち年3回は保護者も共に礼拝に出ています。多くの親子がともに集う礼拝を持てることに感謝しています。四季の



クリスマス礼拝

ねをもとに、子どもの育ちを考えると、課題も与えられています。また、長時間保育を行うことから職員勤務体制な

されている人を訪ね、共に食事をし、友となったイエスの姿に倣おうとする東岡さんの、熱い思いの現れなのでしょう。

彼女は最後に「イエスが共にいて下さるから迷うことなく、この活動を続けていくことができるように思います」と、力強く語られました。「わたしたちが愛して仕え合うときに、そこに神の救いのよろこびは実る 皆それぞれお互いに応えあ

移り変わりが感じられる樹木もたくさんあり、さくらんぼ、グレープフルーツ、夏ミカン、渋柿などの実のなる木もあることは嬉しいことです。教職員には保育と幼児教育の「質の向上」という従来の幼稚園での教育内容の積み重ね

う

神さまに結ばれた者だから」聖歌418番を心を合わせて歌い、「共に生きる」ことを考えさせられた、豊かな学びの集いは閉じられました。

これからの寒さの中での路上生活、そしてボランティアの方々の支援活動は厳しいものでしょう。ご一緒に神様の導きとお守りを、お祈りいたしましょう。

(まつもと みちこ・堺聖テモテ教会信徒)

どに厳しい現実がありますが、命を預かる現場として先生方と共に緊張感を持って過ごすことも大切だと思っています。私の足りないところを副園長、主任をはじめ多くの職員たちが補ってくれています。教会の方々にもご協力をいただきながら、保護者や幼児が喜びに満ちた日々を過ごせるように、導いていただければ、みことばに聞き従いながら幼児との時間を過ごしていきたいと思っています。

(のみやま めぐみ・芦屋聖マルコ教会信徒)

九州地震

今も必要とされているボランティア

司祭 ヤコブ 松平 功

熊本駅から市街地に入ると、街の活気を伝えるかのような交通渋滞が続き、舗道を闊歩する人々は笑顔で行き交い、あたかも地震など全くなかったかのように見える。しかし、そこから益城町に向かって車で15分ほど進むと、どんどんと街並みは変化していく。まず、道路の隆起や陥没のため車中の振動と騒音が激しくなっていく。そして、幹線道路沿いでは倒壊家屋を撤去した後の更地が徐々に増え始める。道路の奥に目を向けるとブル

ーシートの掛けられた屋根が、あちらこちらに点在しているのがわかる。また、益城町の路地裏に入ると、赤い危険マークを貼られた建物や倒壊した家屋が延々と続いていく。人影もなく静まり返った町は、まるで地震が起きたその時点で時間が止まっているかのよう感じさせる。熊本聖三一ボランティアセンター（以下、センター）は、主にこの益城町で活動している。



熊本聖三一ボランティアセンター前にて

被災者の状況を報告する一例として以下が挙げられる。センターに倒壊家屋からの荷物移動を要請してきた被災者は、行政に家屋の撤去を申請した所「2年ほど待ってもらうかもしれない」という返答だったという。彼は以前庭であった所にコンテナハウスを据え付けて居住しているが、あと2年もそ

こには住みたくなないと嘆く。しかし、倒壊家屋を撤去しなければ家を建てる場所がないのである。そこで、仕方なく解体業者に依頼して自費撤去の選択肢を選んだという。このような悩みを抱える被災者が沢山いる。復興作業が遅々として進まないからである。その原因は産業廃棄物の分別にある。解体家屋から出る廃棄物は一旦、仮置場に持ち込

まれるが、ここでは瓦礫、材木、電化製品、プラスチック、金属、布団類、家具類などに分別していなければ引き取ってくれない。そのような事情によりセンターには、解体業者が来る前に家屋清掃をして欲しいという依頼がやって来る。清掃といっても単なる掃除ではなく、家の中にある電化製品やガラス類、金属類などを撤去して解体がスムーズに運ぶように整えるのである。廃棄物を分別して運び出し、トラックに積み込み仮置場に廃棄するという単純作業だが、全て手作業という重労働である。ただ、

大変なだけにやり遂げた後の達成感は言葉にできないほどである。また、その他にも倒壊家屋から仮設住宅や新居に、冷蔵庫や家具などを移動して欲しいという要請も頻繁に受けている。このような現状であるにもかかわらず、センターに来るボランティアの数が少なくなり、時には2人という日もあるという。ボランティア活動が、まだまだ必要とされていることを知っていただきたい。「有志よ集まれ！」と声高に叫びたい。（まつだいら いさお・守口 復活教会牧師）

大宗連・部落解放研究集会

岡山の迫害現場を訪ねる

ペテロ 米虫 克次

11月7、8日、岡山県の津山を中心に、明治6年に起こった「美作騒擾」のフィード・ワークに参加しました。岡山県で被差別部落民18人が殺され、襲った15人が死刑

となった事件です。事件が起こる2年前の明治4年、明治政府は「解放令」を布告し、賤民の身分・職業を平民と同様にしました。これを認めたくない平民は各地で抗議の行

動を起こしました。時の明治新政府は欧米列強に対抗できる富国強兵の政策を打出し、次々と法令を発令しました。国民は種々の変革に戸惑い、抗議集会等を開いて抵抗しました。このような折りに出されたのが「解放令」でした。「解放令」によって身分の差がなくなり、今までの制度的、経済的優越感の喪失が、彼らをして被差別者に向かわ

(次頁4段目につづく)

世界の窓

○宗教的迫害犠牲者のため、ロンドンで「赤い水曜日」運動

11月23日の水曜日、ロンドンのウェストミンスター寺院が

赤い照明でライトアップされた。この赤い光には「信仰によって迫害されている世界の人々と、固い絆で結ばれよう」というメッセージが込められている。赤い照明で宗教建造物を照らすのは、カトリックの慈善団体「Aid to the Church in Need（窮地にある教会を援助するの意）」（以下、ACN）が起こした「赤い水曜日」と呼ばれる運動で、沢山の宗教建造物が同じ夜に赤い光に染まった。この運動の一環として、ロンドンの象徴となっている赤バスが建造物を巡り、「信仰と言動の自由のために立ち上げれ」というスローガンの拡散に役立つミンスター寺院からカトリック教会、イスラムセンター、ユダヤ教のシナゴークを回り、最後にカトリックのウ

エストミンスター大聖堂で巡行を終え、その大聖堂で礼拝が行われた。ACNの国内局長ネヴィル・クリケースミス氏は「我々はACNの赤いバスが赤い水曜日にロンドンを走ることによって、迫害に直面している人々の問題について現実感をもって思い起こさせ、その想起された人々の思いが今も抑圧されている人々の信仰の慰めとなると望んでいる。また、我々はキリスト教徒に限らず信仰を持つ全ての人々に、この運動に関わり平和の中で各々の宗教生活を営むための支援に参与してもらえるようにと招いているのだ」と述べている。カナタベリー大主教ジャスティン・ウエルビー師父はツイッターで「今朝の聖餐式において、世界中の宗教的暴力の犠牲者のため、またその国々の政府のためにも祈りを捧げた」とコメントしている。

(Anglican Communion News Service, November 23rd, 2016)

○差別的落書きによって信仰共同体士が結束（カナダ聖



迫害された人々が逃げ込んだ現場

(前頁よりつづく)
せたのでしよう。暴徒化した群衆は県庁への抗議と同時に被差別部落を襲いました。

今回の研修では、「騒擾」の発端となった鏡野町土居の八幡神社、集合合図に使用された半鐘のある貞永寺村、多くの犠牲者が出た津川原村の裏

山、当時の津山県庁、三浦にある犠牲者の墓等を見学し、研修しました。世情不安な時弱い立場にある人々が予期もしない悲劇に遭遇するという恐ろしさを実感しました。
案内下さった加茂人権問題研究会の皆様は厚く御礼申し上げます。次第です。
(こめむし かつじ・大阪聖愛教会信徒)

公会

オタワ・ムスリム共同モスクの壁には赤いペンキが撒き散らされ、ユダヤ教の祈祷センターでは旧ナチスドイツの紋章である「かぎ十字」や、ユダヤ人を罵倒する多くの落書きがスプレー書きされた。

このような宗教施設への民族的差別的落書きや反ユダヤ的落書きが、6日以上続いたことから、他宗教同士の結果を固めるための集会がオタワのユダヤ教シナゴークで開催された。差別的落書きの標的となっていた施設には、前述のユダヤ教の祈祷センターやオタワ・ムスリム共同モスクの他にも、シナゴークやイスラム教のモスク、そして黒人牧師

が務めるキリスト教会などがあげられる。この集会にはオタワ市長ジム・ワトソン氏や警察署長などを含め600人以上の人々が集い、前進的な話し合いの場となった。カナダ聖公会の主教座聖堂付司祭ジョン・ウィルカーブラックレイ師によると、このような落書きによる宗教施設への攻撃が報告されるようになってきたのは、ドナルド・トランプ次期米大統領の当選からであると言う。また、ウィルカーブラックレイ司祭は「聖公会は、どのようにすればこの種の差別的問題を回避できるのか」というアングリカン・ジャーナルの質問に答え、「このような社会問題を回避する

ためには、教育と理解のための努力を継続していくことが最も大切であるとともに、モスクやシナゴークで礼拝している隣人のために祈るといふ祈りの言葉を加えていくことも重要である。そのような祈りが、わたし達の共通の信仰の重要性を理解する助けとなるだろう」と指摘している。さらに「他宗教間を分裂させる要因よりも、様々な領域において一致団結を促す要素の方が多いのだ」と訴えている。
(Anglican Communion News Service, November 23rd, 2016)
司祭 ヤコブ 松平功
(まつだいら いさお、守口復活教会牧師)

2016 東アジア青年大会 報告会

「宣教の5指標」から見えてくるもの

聖公会東アジア教会協議会 (Council of Churches of East Asia (CCEA)) の新しい試みにより、2016年7月26日～8月1日西マレーシアにて、「2016東アジア青年大会」が行われた。東アジア9カ国の聖公会から青年が集まり、「聖公会宣教の5指標」について学び分かち合い、その経験をそれぞれの置かれた場所へと持ち帰った。



大阪教区では10月30日(日)午後2時30分から大阪聖パウロ教会にて久保田愛美さん(京都教区代表)と小林真綾さん(神戸教区代表)を招いてその報告が行われた。日本聖公会の各教区から選ばれた青年たちは、「聖公会宣教の5指標」を自分たちの国で実際にどのような形で取り組んでいるかを発表するため、1年半の間準備をしてこの大会へ参加した。大会プログラムでもアジアの司祭たちから5指標について講義を受けた。日本聖公会からの発信として、紹介した取り組みは次の通りで、括弧内は今大会学びの中で、5指標を分かりやすくまとめたもの。

①よき訪れを様々な場で証しする(One-伝える)
*2011年に発足したU26(ユージロー、26歳以下の青年による集まり)

②ひとりでも多くの人をキリストの道へと導き育てる (Teach-教える)
*神の愛を自分の中に

③愛の奉仕によって苦しみに応える (Feed-仕える)
*奉仕は教会の中だけ行っていればよいのか。社会に対して何ができるかを考えて、ただ与えるのではなく、相手のニーズを知っていくことを大切だと感じ、可児ミッションについて紹介。

④愛のきずなで結ばれた社会づくり(Transform-変化させる)
*沖繩、広島、長崎で行われている平和行事を紹介。参加して感じた現地を訪れ体感することの重要性、またその学びを持ち帰った後自分たちが率先して同世代や次世代に伝えていこうと感じていること。

⑤自然と共生することにより地球の命を守り育む (Treasure-尊ぶ、大切に
する)
*一緒に歩こうプロジェクト、日韓セミナーについて紹介。

この大会の中で学んだことは、クリスチャン精神を持つことが大切であり、行動の根本は、聖書と説教に基づくので、何れも何れも教会へ通って学び考えることで与えられなければならぬ。

ばならないということ。この大会に参加して、今の社会には問題があふれていることが見えてきたが、今できることの一つは、5指標を知ること。参加が決まったときには、「5指標って何?」と、知らなかったが、教会の活動がそれぞれの指標に当てはまるものが分かると見えてくるものがあると感じた。それぞれの教会でも考えてみてほしい、との内容だった。

(大阪教区生涯学習委員会)

第5回 U26 全国集会

テーマ「G I F T」

日程 2017年 2月17日(金)～19日(日)

場所 大阪市立信太山青少年野外活動センター

参加費 18,000円 (多少の交通費補助を検討中)

参加費は当日会場でお支払いください

部分参加の場合、参加費が異なりますのでお問合せください

専用申込フォーム／

<https://goo.gl/forms/cnQtzwG5Erzobfvz2>

申込締切／1月15日(日)

主催／日本聖公会青年グループ U26

お問合せ／古澤司祭 jfhide@gmail.com

または 成岡執事 chiihirojp@gmail.com まで

ブログも随時更新しています
<http://nssk-u26.blogspot.jp/>



教区の動き

常置委員会報告

9月19日(第12回定例会)

I. 主教報告

*プール学院大学教育学部が桃山学院へ継承、泉ヶ丘キャンパスの桃山学院への設置者変更等、基本合意が締結された。泉ヶ丘にて学校法人桃山学院の下、新しい名称で2018年度スタートを目前に準備が進められている。

II. 協議事項

*大阪教区人権問題担当者選任の件

*2016年11月教区会後の組織及び2017年4月人事について。

10月17日(第13回定例会)

I. 主教報告

*日本聖公会主教会より『堅信前の陪餐』についての牧会書簡が出された。(10/15付)

II. 協議事項

*大阪教区礼拝(10/2)での献金「九州地震被災者支援のため」の送り先は、協議の結果「熊本聖三一教会の補修のため」に献げることになった。
*大阪教区事務局体制について協議。

11月14日(第14回定例会)

I. 報告

*九州教区との連携による大阪教区ボランティア募集。
*熊本聖三一教会・降臨教会修理募金が始まった。

II. 協議事項

*大阪教区3局体制について。

教会・施設の動き

大阪聖パウロ教会

○教会のバリアフリー推進計画(第II期)として、1階トイレを車いすで利用可能なトイレに改修しました。(男女共用)併せて、女性専用トイレ(1・2階)も改装しました。
博愛社

○里帰りの会を開催。博愛社卒業生を対象に、2017年1月14日(土)午後1時から、聖贖主教会1階集会所で。

祝受洗

○芦屋聖マルコ教会

ミカエル 小間 敏子
グレイス 畑野みくに
(10月9日)

○大阪聖愛教会

ルツ 高島 幸子
(11月9日)

○川口基督教会

リディア 異 由美子
エノク 棚橋 芳広
パウロ 渡辺 邦弘
ヨナタン 長尾 泰文
クララ 立岡 潤子
イサク 原 漆太

○守口復活教会

パウロ 高野 喜照
(12月4日)

祝受按

○大阪聖愛教会

ルツ 高島 幸子
(11月9日)

○川口基督教会

リディア 異 由美子
エノク 棚橋 芳広
パウロ 渡辺 邦弘
ヨナタン 長尾 泰文
クララ 立岡 潤子
バルナバ 上之園光聖
ラファエル 島崎 凜音
(12月4日)

○守口復活教会

パウロ 高野 喜照
(12月18日)

魂の平安を

祈ります

○川口基督教会

ダビデ 原田 菊治
パウロ 土器 信彦
(10月10日・87歳)
(10月12日・55歳)

主とともに —日々の祈り—

日々の暮らしのなか、
主を仰ぎ「お祈りをしたい」
と思うことがあります。

世界のため、教会のため、
社会のため、自分のため、
人のため、家族のため、…!

さまざまな祈りのための冊子が完成しました。
1冊お手元に置き、ご使用いただければ幸いです。

※ 1冊 200円送料別途、
大阪教区事務所へご注文下さい。
TEL 06-6621-2179



教区関係教役者
逝去者記念聖餐式

◇ 1月11日 (水) 10:30 ~

於: 主教座聖堂 (川口基督教会)

- 説教者 司祭 ペテロ 竹林 徑一
- 1日 宣教師 ヘンリー・ラング (1917 米)
司 祭 デイビッド・マーシャル・ラング (1946 英)
司 祭 ウイリアム・ロイストン・グレイ (1950 英)
- 3日 主 教 ウイリアム・オードリー (1910 英)
司 祭 河合 堯三 (1939)
- 8日 司 祭 テモテ 名出 望 (2015)
- 12日 司 祭 ヨセフ 側垣 基雄 (1965)
司 祭 ギデオ 小川 博司 (2002)
- 13日 伝道師 三木 八十五郎 (1918)
- 15日 司 祭 パーシー・A・スミス (1960 米)
司 祭 寺本 房吉 (1960)
- 19日 司 祭 ペテロ 宇野 秀太郎 (1944)
主 教 アーサー・リー (1958 英)
伝道師 今泉 頼子 (1970)
- 20日 司 祭 ヒカル 柳原 光 (1994)
主 教 オーガスチン 高野 晃一 (2015)
- 21日 司 祭 久永 光雄 (1937)
- 22日 主 教 ペテロ 松本 寛一 (1980)
- 25日 執 事 ト部 徳太郎 (1933)
- 26日 司 祭 パウロ 井上 進次 (2016)
- 27日 司 祭 サムエル 久保 道則 (2011)
- 30日 執 事 バルナバ 寺沢 久吉 (1945)
- ?日 司 祭 山下 有任 (1903)

◇ 2月8日 (水) 10:30 ~

於: 主教座聖堂 (川口基督教会)

- 説教者 司祭 ペテロ 岩城 聡
- 1日 宣教師 エルザ・M・キーン (1949 英)
- 3日 司 祭 トマス 佐藤 時雄 (1989)
- 5日 司 祭 バークレー・フォーウェル・バクストン (1946 英)
- 8日 宣教師 フランシス・エドワード・ハモンド (1932 英)
- 10日 司 祭 祖山 達三 (1941)
司 祭 皆川 晃雄 (1952)
- 宣教師 フローレンス・マリアン・ファジル (1956 英)
- 13日 伝道師 マリア 奥田 ヤス子 (1949)
- 14日 司 祭 J・ハミルトン・クインビー (1882 米)
- 16日 司 祭 ステパノ 久保 登知雄 (1981)
- 17日 司 祭 ジョージ・ヘンリー・ポール 1929 英)
- 19日 伝道師 小橋 かつえ (1964)
- 20日 司 祭 ヨセフ 松岡 安立 (1972)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前 10 時 30 分から、主教座聖堂 (川口基督教会) で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

- 大阪聖パウロ教会
ルツ 後藤 恵美子 (10月17日・96歳)
- 石橋聖トマス教会
ルツ 杉本 美津子 (10月22日・88歳)
- ヨセフ 茂木 恵 (12月4日・85歳)
- 聖ルシヤ教会
サラ 岡村 昌子 (10月22日・78歳)
イサク 尾崎 彦四郎 (11月10日・84歳)
- 大阪聖ヨハネ教会
テオフィロ 粉川 皓年 (11月1日・77歳)
- 大阪聖アンデレ教会
ルツ 橋高 富美子 (11月1日・90歳)
テオフィロ 角田 百合子 (11月13日・95歳)
- バルナバ 小倉 (橋本) 正亘 (10月23日・87歳)
- サムエル 小間 (宇野) 章 (11月7日・67歳)
- ハンナ 岡 洋子 (11月14日・89歳)

被 献 日 礼 拝 (聖 餐 式)

2017年2月2日 (木)

午前10時30分

尼崎聖ステパノ教会

司 式 内田 望 司祭

説 教 ウイルソン ウオーレン 司祭

昼食後、感謝箱献金事務局、コアスタッフの
お話を聞きます。続いてご参加ください。

日本聖公会の新刊

おいで子どもたち

初めて陪餐する子どもたちへ
文 斎藤 惇夫 / 写真 田中 雅之



発売中

聖餐のすばらしさを一編の詩に表現する本
日曜学校での使用が増えています。

A6 判変形・ハードカバー 32 頁 / 700 円 + 税